

25 有害鳥獣対策への支援 (侵入も防ぎ対策、個体数を減らす対策)

全国的に、里山では野生鳥獣による農作物被害が深刻化しています。智頭町も例外ではなく、町内全域での有害鳥獣捕獲活動を推進しています。捕獲活動の協力者である髙節男さんは、「この数年間の取り組みで、山郷地区では有害鳥獣の被害は少し減ってきているように思う」と言います。まちでは、他にもいろいろな鳥獣対策を進め、農作物を守る努力をしています。



髙節男さん

24 空き校舎活用推進

40代のころから村づくりに取り組んできた中澤皓次さん。地区振興協議会の代表として、旧山郷小学校の利活用の取り組みを進めています。月に一度、地区の小学生に学校帰りに遊んでもらう試みや、サロンやグラウンドゴルフなどの高齢者の居場所づくり、企業研修などに活用中です。「宿泊施設の整備、企業誘致なども取り入れ、法人化して自立できる仕組みをつくりたい」とさらなる意欲を話してくれました。



中澤皓次さん

23 各文化サークルの活動 支援と参加者の加入促進

智頭町では24の団体が文化協会に加盟して活動しています。智頭写真クラブもそんな団体の一つです。平成10年に発足し、石谷家や文化祭、雪まつりなど、町内のイベントにも作品を出展しています。また、鳥取市内にある中電ふれあいホールでの展示も毎年開催しています。代表の小林悦次さんは「文化祭ではいろいろな団体の方と交流ができて楽しいです」と話します。まちではこうした文化活動の支援も大切にしています。



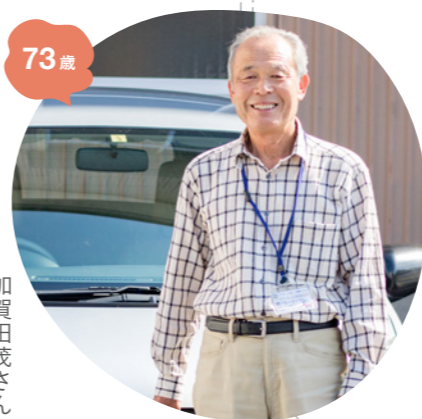
小林悦次さん



古谷哲雄さん

26 百人委員会

「まちに特色ある製品をつくろう」と、あまり知られていないシベリア産の野菜ルバーブに着目し、生産から加工(ジャム)、販売までの6次産業化に取り組んでいます。また、販路の拡大にも挑戦し、大阪府中之島にあるアンテナショップ(麒麟のまち)でも販売しています。町民には苗の販売もしており、食材としても鉢での鑑賞用としても楽しめるルバーブの普及と特産品化を目指しています。



加賀田茂さん

27 高齢者等移送サービス事業

シルバー人材センターが担っている高齢者などの移送サービス事業。一人暮らしのお年寄りなど、自家用車で移動が難しい人々のために、病院や買い物など、日常的な移動を支援する取り組みです。ドライバーとして参加している加賀田茂さんは、「ドライバーの指名はできないルールけれど、次回もまた加賀田さんに乗せてほしいといわれたことが本当に嬉しかった。生きがいになっています」と、笑顔で話してくれました。

28 買い物弱者のための システムづくり

誰もが安心して充実した生活を送ることができるよう、弱い立場の人の生活を支援するしくみづくりをすることはとても重要です。フードショップなどの移動販売を利用している赤堀睦子さんは、「自宅の前まで来てくれるので、食材を自分の目で選んだり必要なものを頼んだりできて、とても助かります」と言います。まちではこのような民間の取り組みと連携しながら、お互いに支え合う社会づくりを進めています。



赤堀睦子さん

